

会議録（概要）

会 議 名 称	第3回愛西市総合計画審議会
開 催 日 時	令和7年3月19日（水） 午後2時から午後3時50分まで
開 催 場 所	愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1，2
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	小島ひろえ委員、山内清乃委員、杉方南衣委員、伊藤里海委員、竹田友美委員
公開・非公開	公開
傍聴人の数	0人
審 議 事 項 等	●審議事項 （1）現在までの進捗状況について 高校生ワークショップ 市民ワークショップ 庁内ワークショップ （2）基礎調査等を踏まえた愛西市の課題の整理について （3）基本構想案について ●その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 総合計画審議会委員名簿 ・ 配席図 ・ 資料1 第3回総合計画審議会 審議内容 ・ 資料2 ワークショップ当日アウトプットとりまとめ集 ・ 資料3 令和7年度全体スケジュール 【参考資料】将来都市像の考え方について 【参考資料】将来都市像と基本理念の関係について
審 議 経 過	別紙のとおり
議 事 録 の 確 定	
確 定 年 月 日	署 名
令和7年 4月 7日	署名委員 鬼頭 豊次

愛西市総合計画審議会委員

役 職	氏 名	備 考
会 長	千頭 聡	
副 会 長	加藤 洋平	
	平野 英治	
	長谷川 岸子	
	鬼頭 豊次	
	加藤 憲治	
	小島 ひろえ	欠 席
	石河 和子	
	原田 健三	
	水野 善弘	
	山内 清乃	欠 席
	堀田 豊彦	
	杉方 南衣	欠 席
	松永 恵美子	
	水谷 瀧男	
	水谷 良子	
	池口 あゆみ	
	伊藤 里海	欠 席
	礪元 玲奈	
	竹田 友美	欠 席

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備 考
副 市 長	清水 栄利子	
総務部長	近藤 幸敏	
企画政策部長	西川 稔	
企画政策部参事	澤井 勇一郎	
市民協働部長	山岸 忠則	
保険福祉部長	田口 貴敏	
健康子ども部長	人見 英樹	
産業建設部長	宮川 昌和	
上下水道部長	山田 英穂	
教育部長	佐藤 博之	
消防長	伊藤 規雄	

事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部経営企画課長	井戸田 悦孝	
企画政策部経営企画課課長補佐	若松 孝志	
企画政策部経営企画課主事	富田 智美	
三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）		委託事業者

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	開会 資料の確認 会議の成立 [愛西市総合計画審議会条例第6条第2項] 会議の公開と傍聴について（傍聴人0名） [愛西市総合計画審議会運営規程第3条] 会議録の作成 [愛西市総合計画審議会運営規程第4条]
会 長	1. あいさつ ＜会長あいさつ＞
副市長	＜副市長あいさつ＞
会 長	2. 会議録署名委員の指名 ＜議事録署名委員として鬼頭豊次委員を指名＞
事務局	3. 審議事項 (1) 現在までの進捗状況について 高校生ワークショップ 市民ワークショップ 庁内ワークショップ ＜資料1の2ページから16ページまで 事務局より説明＞
事務局	(2) 基礎調査等を踏まえた愛西市の課題の整理について ＜資料1の17ページから19ページまで 事務局より説明＞
事務局	(3) 基本構想案について ＜資料1の20ページから27ページまで 事務局より説明＞
会 長	今日の審議会では、3つの「将来都市像」案から1つを決めていきたいと思いますが、その前にワークショップについて何かご質問、ご指摘があればどうぞ。
委 員	大変な作業をされたようで感心していますが、ワークショップを行うにあたりリーダー的な方はお見えになったか。
事務局	ワールドカフェ形式をとりまして、お題に対して自由な意見を交わし、それをまとめていきました。 通常は司会者やリードする方が個々の意見をまとめあげていきます

委員	が、ワールドカフェ形式というのは、自由な意見を出しやすいようにして、司会者を置かないワークショップの形になります。 愛西市の地域性で、4町村が合併して愛西市になりました。「自然：美しい」、「農業：れんこん」というワークショップの結果に違和感があります。ここに来るまでに津島市を通ってきましたが、地域性を重点に考えた案があったらいいと思っています。住んでいるところでは、美しい自然を感じたことがあるかなと疑問です。同級生に農業の後継者は1人もいません。後継者がいないのにどうなるのだろうとか、と感じました。
会長	合併をしたという経緯もあり、東と西では特性が違うかもしれません。農業と言われても東の方では違和感があるということです。特定の地域を想定したわけではなくて、ワークショップの参加者が自身の感覚で出されたイメージですね。 3つの将来都市像案から選ぶときに、委員の皆さんがイメージされている愛西市は地理的にどのあたりを主に考えているかによって変わってくるかもしれないです。
委員	高校生／市民ワークショップの意見の中に高校生が考える取り組みで「廃校を活かしたキャンプ場」が出ていました。これから学校はどうなるのだろうと感じていますが、廃校を活かしてキャンプ場をやったらどうか、どこかに蛍が棲む環境がいいと書いてあり、ロマンに満ちた若い人の素晴らしいワークショップであったと感心しました。
委員	佐織地区には特別支援学校や愛西工科高校とさまざまな学校がありますが、大学が来るといいと永年思っていました。高校生が愛西市に大学を作るという発想を持たれていたが、大人はこのような発想をし難い。子どもたちが成長すると電車に乗って遠いところへ通学することが多いため、愛知県の西部にも大学があってほしいという希望は、素直な気持ちとしてあると思いました。
会長	お手元のA3資料「将来都市像の考え方について」の左に審議会、アンケート、ワークショップで出てきた意見を集約して「目指す状態」を4つの柱にまとめられ、右に「愛西市がこうなってほしいというキャッチフレーズ」を検討されて審議会にはこの3つを諮りたいということです。できれば案1、案2、案3の中から決めることができればいいかと思います。「あいさい」を将来都市像の後ろに付けるのかも含めて、少し時間を取りますので、考えていただいて挙手にて投票していただきたいと思います。

委 員	将来都市像の後ろに「あいさい」を付けた方がいいと思います。将来都市像の案３「１００年」というワードが少し引っ掛かります。いつから１００年なのかが疑問です。
事務局	１００年というのは持続性があるという意味合いの１００年と捉えていただければいいと思います。ワークショップでも今から１００年ということではなく、一区切りとしての１００年で持続性のあるまちを目指すという意味で言葉を出していただきました。
会 長	案１と案３は「あいさい」を付ける前提で考えていただくようにしますか。
委 員	案１の「自然と人を誇れるまち」について、「人と自然を誇れるまち」と、人を前にした方がいいと思います。
委 員	案１の「行きたい」は他市町村を指しているから、愛西市民を大切に する言葉が頭に来る将来都市像にするべきではないかと思います。 自然を大切にしたいということがふんだんに出てきますが、愛西市の 基本フレームの地図を見ると、都市部と木曽川に面した農村部とでは、 環境が大いに違う。そこをどのように結び付けるか。私がこの地に来た 頃は、蛍が飛び、路線バスが通り、農作業をしている人からも声をかけ てもらって、この地に来る前はそういう会話がなかったから、びっくり しました。街と比べれば自然豊かなところですが、今では、蛍は飛ばな い、不法投棄の建物が知らない間に建っている。自然を守ろうという言 葉が盛んに出てくるが、３０年４０年の間に随分変わってきている。こ の３つの案にほっこりとしめない面がある。そうした場合は、手を挙げる のですか。
会 長	場所によって自然という言葉からのイメージが違うと思います。愛西 市に原生的な自然はないし、農地が自然かということと人の手が加えられて 維持されている。名古屋の街中でも庭に花を植えられたり、本当の自然 ではないけれども貴重な緑であったりするかもしれない。人の手が入っ ていない自然から小さな身近な自然までであると思います。ここの自然は 特定の広大な自然だけではなくて、皆さんが少し意識するようなことも 含めて、広く自然という言葉を使っていると思います。
事務局	木曽川、濃尾平野といった大きな自然もあります。ただワークショッ プに参加された名古屋市の方や名古屋市から移住されてきた方は、愛西 市に自然を感じるとおっしゃっていました。人によって感じ方は違うと 思いますが、大きな自然から小さな自然までを継続的に維持していくイ メージで「自然」という言葉を捉えていただきたいと思います。

委 員	自然ということですが、愛西市が目指すところは企業誘致とかいろいろ課題があると思います。この３案で将来都市像を重点的に考えていくことがベストなのでしょうか。将来の企業誘致も課題に挙がっていると思います。人口が減少している中で、企業が増えれば愛西市の財政が豊かになるのではないかと思います。
会 長	市の総合計画なので、大事なのは市民が自分たちのまちをどのようにしたいのか。ご指摘のとおり市の財政が悪化して立ち行かなくなっては市民にとってはよくない。市民がいつまでも愛西市を愛することができかが最大の目標です。その手段として財政力が豊かでなければならない。必要であれば企業誘致をして税収を上げなければいけない。税収を上げるとか、企業立地を進めることが目的ではなくて、最後の目的は市民が住んでいるまちにどれだけ住み続けられることかではないかと思っています。
副会長	総合計画は、基本構想や基本計画という構想からできていて、基本構想という部分では、愛西市施策を行うことによってこういうまちができてくるというビジョンです。ビジョンはどちらかというとふわっとしたものになってくると思います。委員の皆さんも問題意識を持っておられるが、ふわっとした感覚で決めてもらえればいいと思います。具体的なことは、基本計画など細かいところの議論になってくるので、そういった考えでいいと思います。
会 長	次回、基本計画としてたくさんの施策について、議論することになると思います。
委 員	将来都市像は、行政に大きく影響しますよね。これに基づいて将来の愛西市を進めていくと理解してよろしいか。
事務局	将来都市像を目指して、基本理念や基本目標、その後それらに基づく基本計画そして実施計画、これらの個別計画をもって進めていくものがあります。
会 長	あえて言うならばキャッチフレーズです。基本構想の後半、基本計画では行政がやっているすべてを網羅するわけです。例えば、商業の振興であるとか、企業の誘致であるとか、農業の振興も入ります。そのようなものを全部含めたものです。ここに工業立地、促進の記載がないから、それをしないということではなくて、皆さんが愛西市の将来を思い描く、こうなってほしいというキャッチフレーズを選ぼうとする趣旨です。

委 員	観光協会でも地域性がある、行事や商品が違い大変である。将来都市像は他市町村でもあると思います。参考にどのようなものか教えてください。
事務局	例えば、弥富市は「地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富」、豊川市は「光・緑・人輝くとよかわ」、津島市は「～未来につなぐ～住んでみたい 住んでよかったまち津島」、あま市は「人・歴史・自然が織りなす セーフティー共創都市“あま”」です。こうなったらいいなというふわっとした印象を受けるものになっております。
委 員	それぞれ市の特徴を捉えたスローガンを持っています。愛西市もオンリーワンの部分で決めてもらいたいと思います。
委 員	宮崎県都城市で生まれ3年前に帰ったときに、何が自慢かという病院がどこにもあり、羨ましいと思いました。愛西市にかかりたい医院がないときは、近隣市の病院へ行けばいいですが、年をとって行くことができなくなると困る。 愛西市に自然や企業団地のことが出てきましたが、愛西市は福祉の面に力を入れていて、子育ての仕組みが定着しつつある。こういうのが強みになってここに住もうかと、移住しようかとなるのではないかと。 愛西市と核となるものとして、教育や福祉は大切になると思います。
委 員	第1次総合計画は「～人々が和み、心豊かに暮らすまち～」という構想ができて、第2次総合計画では「ひと・自然 愛があふれるまち」でしたが、2案には「あふれるまち」が入っているので、それを進展させた案であると思いました。
委 員	この議題に対して、意見が細か過ぎるのではないかと思います。将来都市像は、漠然とした方がいいと思います。私は木曽川の近くに住んでいて自然豊かであります。都会の人と交流した時にいいところと言われました。地元に住んでいると不便なところとだともあります。自分の地域にない部分を求めている場合もあり、あまり目標を絞っては、キャッチフレーズにならないのではないかと思います。
委 員	案1がいいと思います。「行きたい」が市外の人を指していて、市外から来てもらうことで発展していくと思います。発展するところに人が集まる。人が集まると住んでいる人にも還元されると考えます。
委 員	家族にも将来都市像案を聞きましたが、家族でも選んだものが分かれ

	ました。小学生の子どもは案３が安心できると。「１００年の幸せ」のところに安心感を覚えたようで、子どもにはわかり易いと思いました。
会 長	将来都市像としては、目指したいまちとして大きく考えておいた方がいいと思います。基本計画では、個々の分野でとるべき施策を議論ができると思います。
会 長	都市将来像をお諮りしていいでしょうか。多数決とします。挙手をお願いします。できればどれかを選んでいただきたいが、棄権も意思表示の１つです。
	< 挙 手 >
会 長	案１がいいと思われる方は、４名です。 案２がいいと思われる方は、６名です。 案３がいいと思われる方は、３名です。 お諮りしましたように多数決で、愛西市の将来都市像は、案２「住まいる あいさい～ともにつながり、笑顔と希望あふれるまち～」を審議会の総意とします。ただ、多くのご意見をいただきましたので、十分に表現されていないところは、個々の分野ところで議論していけばいいと思います。 続きまして、基本構想案の後半部分の説明をお願いします。
事務局	（３）基本構想案について <資料１の２８ページから３１ページまで 事務局より説明>
会 長	基本理念として３つ、それを受けて基本目標が７つあります。基本目標の７つが、行政の施策全体を柱建てしたことになると思います。 まだ検討の途中となると思いますので、委員の皆様からアドバイス、提案をいただいて、それを受けて行政の中で検討されるということになります。
副会長	この７つの基本目標は、これでいいと思います。シティプロモーションを行政だけではなく、市民にも担い手としてやってもらう。そういう視点で基本目標１の市民活躍に位置付けすることに納得しました。
委 員	計画を市民に浸透させることが必要であると思う。興味がない人がほとんどであり、机上の空論にならないようＰＲ等慎重にお願いしたい。
会 長	審議会の最後の、話題になるかもしれません。出来上がった計画をどのように市民に伝えていくか、大切なことです。

	あるまちの総合計画のパブリックコメントに、中学生から多くの意見が出てきていました。審議会のメンバーに中学校の先生が入っていたこともあり、役場でこんな計画を作っているのだから、みんなで意見を出そうとなったようです。皆さんに関心を持ってもらうことはいいことです。
委 員	文化協会としては、古い体制を変えていって若い世代にも行事に参加していただきたい。「生涯の学びを支えるまちづくり」で何とかならないのかなという思いがあります。
委 員	愛西市は農業の仕事が多いと思いますが、若い人たちは農業から離れて、愛西市からも出ていって子どもも少なくなってきました。学校の再編も問題になっていると思います。農業地域から工業地域になっていくのではないのでしょうか。
委 員	今日は大まかな段階ですので、農業の現場での考え方や意見は、次回以降に出せるものとして聞いていました。少し思うのは、農業が盛んな木曽川沿いに住んでいる者としましては、52,000 人の人口を想定、更に減った人口を想定した前提で話をされるわけですが、人口が減るという状況には、空き家問題や、子どもが少ないとか、ネガティブな現状がその言葉の裏に含まれている。そういったことも次回以降に検討される段階の話だと思っています。 ただ、7つの基本目標の中で、あま市の将来都市像の中に「歴史」という単語がありました。愛西市の「歴史」は、比較的古い江戸時代中期の頃から、歴史的な財産、伝統行事や文化は負けず劣らずあるので、基本目標6に「歴史」を入れた方がいいと思います。
委 員	基本目標が達成されれば、全国から移住者が殺到してくる。人口減少や少子高齢化はなくなるのではないかと。行政には、目標達成のために大変なことがあるかと思っています。
委 員	子どもは大事にしていきたいので、子どもファーストで施策を進めていただくとありがたいと思います。子どもの意見を聞いてもらえるといいと思いました。
会 長	高校生ワークショップは行いましたが、中学生がどう考えているかというのは、今の段階で何かありますか。
事務局	アンケート調査で、小学校5年生・中学2年生にアンケートを取っています。だれもが自由に意見を聞ける状況にないので、子どもさんの意見をくみ取って発言していただければありがたいと思います。

会 長	小学生、中学生のアンケート結果を簡単でもいいから返していただいて、それを受けてこんなところで議論していますと伝えれば、参画意欲がすごく高まりますので、アンケートをやりっぱなしにならないようにお願いします。
会 長	他に意見もないようですので、次第４のその他に移ります。
事務局	４．その他 今後のスケジュールについて ＜資料３ 事務局より説明＞
会 長	今回は、７月３１日になりますが、基本計画案として新しい基本計画の全体が出てきます。資料も膨大になるため、できるだけ早目に資料を委員の皆様を送っていただいて、それをご覧になって事前に質問やコメントを出していただけたらいいと思います。中身のある議論ができるよう配慮をお願いします。 本日予定しておりました審議事項は全て終了しましたので、審議会はこれにて終わりたいと思います。どうもありがとうございました。 閉会